

差出人： メールニュース／b-active 株式会社  
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.048–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願い致します。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

引き続き、1月12日（水）に開催しました ACCN テーブル 19「第9回セルフ・キャリアドック・フォーラム」での厚生労働省キャリア形成支援室長 國分一行様の「問い」への、わたくしの考えや意見お伝えいたします。

今回は「問い3の中盤、効果やメリット？」についてです。ここで大切なことは、企業内キャリアコンサルティング、セルフ・キャリアドック導入の目的や狙いは何なのか？という点です。皆さんはセルフ・キャリアドックを、なぜ導入するのですか？

「従業員と会社を元気にしたい」「不安や悩みを解決してあげたい」「キャリアを自律的に歩んでほしい」「主体的に能力開発をしてほしい」「離職率を改善したい」「やりがいを高めたい」……。

わたくしの場合、外部から多数の企業様に導入支援と運用を実践しているなかで、当たり前のことですが、実際セルフ・キャリアドック導入の目的とその狙いは各企業それぞれ違います。

つまりそれは、組織の人材戦略の実現状況や、解決すべき人材課題が各企業で異なり、そしてそのソリューションのひとつとしてセルフ・キャリアドックを設計提案し、導入するかどうかを判断されます。

その経営判断のひとつのポイントとしては、「従業員の意識変革やマインドセットによる自律的なキャリア形成の実現」という効果を、その企業が必要とするかどうかではないでしょうか。もしそれが YES であれば、目的と狙いに対する効果は明確に出ます。

さて、ここで少し「組織の人材戦略」について見てみましょう。これも私の複数の企業支援からの考えですが、社会全体での大きな変化を捉えたと、組織の持続的な成長を阻害するいくつかの要因が戦略の始点になるのではと考えます。

例えば人口減少。今後は新卒や若手の採用が益々厳しくなるために、「人材市場から選ばれる企業」がビジョンとなります。また、多様性重視からは「働きやすい企業」、長寿高齢化からは「長く働きたい企業」が戦略の始点とそのビジョンでしょうか。

他にも VUCA 社会や DX 社会からは、「スキルアップできる企業」「学び直しに前向き企業」「貢献したい企業」「自分らしく働ける企業」が考えられ、私たちのアドバイスも有効です。

皆さんの企業ではビジョンと人材戦略の実現状況はいかがですか？社会変化の影響はどうですか？経営や人事のお困り事はどんな状況ですか？そしてキャリア支援の目的や狙いは？

キャリアコンサルタントとして、戦略の実現や課題へのソリューションのひとつとしてセルフ・キャリアドック導入効果やメリットを企画提案することが最も有効なのではないでしょうか？

今回は、「問い 3 の後半、デメリット？」について意見を述べたいと思いますが、ぜひ皆さまからもご意見などをいただければ幸いです。

\* 3 月度のセルフ・キャリアドック・フォーラムに再度國分室長様にご参加いただく予定ですので、企業内キャリアコンサルタントの方は、ぜひ ACCN テーブル 19 へのご参加をお待ちしております。

お問合せ：ACCN Table No19 大阪万博・共創チャレンジ事務局 [team.accn.table19@gmail.com](mailto:team.accn.table19@gmail.com)

———— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ————

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6 時間）は **3 月 13 日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6 時間）は **3 月 20 日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6 時間）は **3 月 27 日（日）**

お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 [www.b-active.co](http://www.b-active.co)

Copyright© 2022 b-active Inc.